

# Continuation of that day

## 本町を元気づけたい - 私にできることはなんだろう -

2025年4月 多度津高校に入学した私は初めて多度津町内を歩きました。そこには、昔お店をしていたであろう建物が建ち並んでいました。人通りはなく、車もまばらで、どことなく寂しさを感じました。ある日、先輩から「本町デー」というイベントがあることを知りました。その後様々な出会いがあり、私にも何かできることはないのかと思い、活動することを決めました。

あの日の続き...

TADOTSU Town 香川県多度津町

面積 24.39 平方キロ  
人口 22000 人  
人口密度 900 人 / 平方キロ  
地価相場 11.2 万 / 坪  
(3.4 万 / 平米)  
令和4年地価調査結果を基に概算より



## TADOTSU History

多度津町は日本遺産に認定されており、北前船の歴史が色濃く残る町です。元禄7年(江戸時代)、四国の玄関口として栄えはじめ、天保9年には港が本格的に整備されました。北前船の寄港地であったことと金比羅さんの街道であったこと。この2つが特色ある発展を遂げることになります。四国電力の前身があったり、初めて鉄道が走ったりと先鋭的な町でした。鉄道は現在も要所ではありますが、自動車社会になった現在、国道・高速道路ともに近隣市町を通っており、閑静な町となっています。



5/18 本町デーのようす

私が創造できる価値 -

学校で建築を学ぶなかで、「作る」だけでなく「活かす」ことも学びました。建築科に通う私だからこそできる活動を模索しています。8/23の本町デーで展示を見に来てくださった人たちに多度津町本町の歴史を伝え、興味をもってもらえたら嬉しいです。今後も多度津町本町を元気づけるような活動を行っていきたくて考えています。

## ▶Prologue - 出会い -

2025/4/6、多度津の本町にある合田邸の公開イベントボランティアで受付をしているときに、偶然出会った女性と話がはずみ仲良くなりました。その人は、多度津町立資料館の方でした。私はその人から多度津町の歴史を知りました。「昔は、もっと栄えていたんだよ。」と教えてもらいました。私はその時驚きました。この町にもそのような時代があったのだと。話を色々聞いたあと、周りを見渡すと合田邸の素晴らしさを感じることができました。知ることが無ければ気づかなかった価値。私にとって大きな発見でした。

5/1、資料館へ出向き相談をしたところ、出張資料館をやってみてはどうかと勧められ、展示空間を作ることにしました。

## Annex Project for revitalization

多度津町立資料館 × 香川県立多度津高等学校 建築科

## Concept：先人が紡いできた歴史 - それを建築の視点から受け継ぎたい -

私は多度津の歴史について勉強し、多度津町教育委員会発行の資料をもとに展示空間を考えてみることにしました。7/24、酒蔵だった建物を家主さんの了承を得て使わせていただくことになりました。この建物を有効活用し、展示構成を6つに分けて展示をし、多度津の歴史をより知ってもらおうと考えています。



1. VP  
アイキャッチとして、格子壁を作成。誘導と通りの賑やかさに寄与する。



展示会の説明や多度津町の地図を展示する空間。ビジュアルを用いてわかりやすくする。



3. 多度津の歴史  
多度津町内にある文化財や町並みを説明する。



4. 日本遺産  
多度津町の北前船や鉄道、古代から江戸時代までの歴史を資料を使い展示する。過去と現在が比較できるような構成にする。



6. 未来の多度津  
作成した本町と多度津町本通り周辺模型を設置する。

かつての酒蔵の雰囲気を活かした会場構成をめざす▶

## アネプロ ▶多度津町立資料館の分館をプロデュースし、空間を構成します

### 地域にあたえる効果

夜の資料館という非日空間で展示方法を工夫することで人が集まる場所を目指します。集客力が街に対して賑やかさを提供し、町が明るくなる効果を期待します。歴史を知った人が増えることで町や景観に重みを感じてもらいたいと思います。また、人が笑顔になる資料館も目指します。この町の新たな歴史の1ページとなるような活動を行っていきたくて思います。この活動が街の人と一緒に町を元気づけるきっかけになることを願っています。



美しい花が  
咲きますように



2025.8.23 17:00

OPEN

旧 吉田酒造

## TADOTSU HONMACHI DAY

WHAT?

学校のある多度津町。そこから徒歩で15分ほど町内へ進むと、古い町並みが残る通りにたどりつきます。今は「本通り」と呼ばれていますが、かつては「本町筋」と呼ばれていました。金毘羅街道として、地域住民の商店街として、多彩な時代があったと聞いています。現在は近隣にSCなどができ、静かな通りになっています。国の重要伝統的建造物群保存地区選定を目指す有志が2023年4月より本町デーを開催し、往年の賑わいを取り戻そうとしています。出し物として飲食ブースのほかアウセサリー作り、子供向けのゲームのほか、歴史資料の展示やまち歩きイベントの開催などを実施しています。



私が考える「豊かな暮らし」とは毎日家族と過ごせること、ご飯が食べれて自分の好きなことができることだけではなく、物事や生活に何かひとつ付け加えることで生まれる幸せだと思います。なにもないところに種を植えるとそれが芽となりやがて花となります。花を見ると幸せと感じます。それと同じように、何かを付け加えることで町に変化が生まれ、嬉しい気持ちにもなります。こうなるような手助けをしたいと考えています。そんな気持ちで8/23の準備を進めています。(MAO)

